

会報

○本号は、第七一回学術大会紀要であるが、本号掲載の他に以下の研究発表があった。(発表順)

第二部会 死を意味づける語り―空の墓伝承を事例として―
(土居由美)

第四部会 聖地と交流・伝播―インド密教行者ナーローパの聖地論―(杉木恒彦)、戦後日本とキリスト教―一九七〇年代の日本基督教団から―(川口葉子)

第八部会 井上円了「妖怪学」における心理学の射程(長谷川琢哉)、近代日本仏教の社会思想(上村岳生)

第九部会 事故被害者への慰霊―他者からのまなざし―(名和清隆)、心理学理論における死と宗教―愛着理論―(イーリヤ・ムスリン)

発表を取り消したものは以下の通り。第四部会 吉蔵による感応の理解について(藤野泰二)、フッサール現象学と初期唯識仏教の実践理論(阿部旬)、第五部会 真宗とメディア(加茂順成)、第七部会 神道についての宗教哲学的考察(吉田喜久子)、第八部会 西田幾多郎における「死の自覚」について(喜多源典)、アジアにおける近代化と宗教(保坂俊司)、横川顕正と宗教経験(和田真二)、近代仏教のキリスト教観(西村玲)、第十一部会 宗教教団によるSNS利用規制の是非について(深水顕真)

本大会の各部会名は以下の通りであった。

・九月八日

- 第一部会 宗教学・宗教史学①
- 第二部会 宗教哲学とその関連
- 第三部会 キリスト教① 第四部会 インド仏教・中国仏教
- 第五部会 日本仏教① 第六部会 日本仏教③
- 第七部会 神道 第八部会 近代日本と宗教①
- 第九部会 宗教と生死① 第十部会 宗教と医療・科学
- 第十一部会 災害・宗教・支援③
- 第十二部会 キリスト教・宗教哲学②／災害・宗教・支援⑤
- 第十三部会 宗教と教育

・九月九日

- 第一部会 宗教学・宗教史学②
- 第二部会 キリスト教・宗教哲学①／災害・宗教・支援①
- 第三部会 キリスト教②／イスラム／ユダヤ教
- 第四部会 インドの宗教／戦後日本の宗教教団・制度
- 第五部会 日本仏教②
- 第六部会 宗教民俗①／グローバル化と宗教①
- 第七部会 神道・日本思想 第八部会 近代日本と宗教②
- 第九部会 宗教と生死②
- 第十部会 宗教民俗②／災害・宗教・支援②
- 第十一部会 宗教と社会①／災害・宗教・支援④
- 第十二部会 巫者・霊信仰と宗教／グローバル化と宗教②
- 第十三部会 アジアの宗教・宗教性
- 第十四部会 宗教と社会②